

公共事業環境配慮実施報告書

農政部 農地整備課

事業名称		達成状況の評価
事業名	県営畑地帯総合土地改良事業(担い手支援型)	A
整理番号	23-4	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	かんがい排水施設の新設又は更新	
市町村名	川上村	配慮した項目 19
箇所名	(原地区)川上村	= 100%
事業年度	平成23年度～令和4年度	配慮する全項目 19
事業概要		
目的	畑かん施設、排水路及び農道を整備することによって農業用水の安定供給確保等、本地区が抱える課題を解消し、営農の安定を図る。	
事業概要	畑地かんがい A=227ha 排水路 L=1,894m 農道 L=8,783m	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地 農振法の農業振興地域	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	適正に実地
	【騒音、振動の防止】	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
水環境	【水循環の保全】	
	・河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。	適正に実地
地形・地質	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施
野生動植物	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・河川・水路に横断構造物を設置する場合は、水棲生物の自由な移動を確保する。	適正に実施
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	工事着手前の調査で工事区域内には重要な植物は確認されませんでした。
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	工事着手前の調査で工事区域内には重要な動物は確認されませんでした。
文化財等	【文化財等への配慮】	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施	
・信州リサイクル製品の利用を推進する。	適正に実施	

省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施